

JIS制改正中長期計画

№	JIS番号	制改正年	JIS規格名称	対応ISO	2024-2025実績							資料1-3	
					2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度			
1	M 8202	2021	鉄鉱石-分析方法通則	なし			○		★◎	●			
2	M 8205	2000	鉄鉱石-蛍光X線分析方法	なし	C2024.06	○			★		○	定期見直し 確認予定 [ISO情報:ISO/TS9516-2(単元素検査線法)改訂中。部編成規格として制定する。]	
3	M 8206	2014	鉄鉱石-ICP発光分光分析法	ISO 11535:2006 MOD				★◎	●				
4	M 8207	2013	鉄鉱石-ナトリウム定量方法(原子吸光)	ISO 13313:2006 MOD									
	M 8207	2020	鉄鉱石-ナトリウム定量方法(追補1)		C2024.06	○			★◎	●		追補改正 ISO 13313:2017 を反映	
5	M 8208	2013	鉄鉱石-カリウム定量方法(原子吸光)	ISO 13312:2006 MOD									
	M 8208	2020	鉄鉱石-カリウム定量方法(追補1)		C2024.06	○			★◎	●		追補改正 ISO 13312:2017 を反映	
6	M 8210-1	2023	鉄鉱石-コバルト定量方法-第1部:2-ニトロソ-1-ナフトール抽出分離吸光度法	なし							○	部編成規格として制定した。	
	M 8210-2	2023	鉄鉱石-コバルト定量方法-第2部:原子吸光分析法	ISO 11533:2009 MOD							○	部編成規格として制定した。	
7	M 8211	2023	鉄鉱石-化合物定量方法-カールフィッシャー滴定法	ISO 7335:1987							○	改正(M 8250と表現を一致させた。)	
8	M 8212	2022	鉄鉱石-全鉄定量方法-塩化チタン(Ⅲ)還元ニクロム酸カリウム滴定法	ISO 9507:1990 MOD(廃止)⇒ISO 2597-2:2015						○			
9	M 8213	2024	鉄鉱石-酸可溶性鉄(Ⅱ)定量方法	ISO 9035:1989	R2024.07	●						適用範囲下限値拡大及び共存元素の影響調査の実験は中止。	
10	M 8214	1995	鉄鉱石-けい素定量方法(重量、吸光度)	ISO 2598-1:1992,ISO 2598-2:1992	W2024.07							部編成制定に伴って廃止した。	
	M 8214-1	2024	鉄鉱石-けい素定量方法-第1部:二酸化けい素重量法	ISO 2598-1:1992	E2024.07	●					○	部編成規格として制定した。	
	M 8214-2	2024	鉄鉱石-けい素定量方法-第2部:モリブドけい酸吸光度法	ISO 2598-2:1992	E2024.07	●					○	部編成規格として制定した。	
11	M 8215-1	2006	鉄鉱石-マンガン定量方法-第1部:原子吸光法	ISO 9682-1:1991(2009改訂)									
	M 8215-1	2022	鉄鉱石-マンガン定量方法-第1部:原子吸光法(追補1)						★◎	●		追補改正(許容差)	
	M 8215-2	2006	鉄鉱石-マンガン定量方法-第2部:過よ素酸吸光度法	ISO 3886:1986(2006廃止)					★◎	●			
12	M 8216	2024	鉄鉱石-りん定量方法-モリブドりん酸吸光度法	ISO 4687-1:1992	R2024.07	●						ISO4687-1:1992を附属書に規定した。	
13	M 8217-1	2020	鉄鉱石-硫黄定量方法-第1部:鉄抽出分離硫酸バリウム重量法	ISO 4689:1986	C2024.06	○					○		
	M 8217-2	2020	鉄鉱石-硫黄定量方法-第2部:熱分解-よう素酸カリウム滴定法	ISO 4689-2:2017	C2024.06	○					○		
	M 8217-3	2020	鉄鉱石-硫黄定量方法-第3部:高周波誘導加熱-赤外線吸収法	ISO 4689-3:2017	C2024.06	○					○		
14	M 8218	1997	鉄鉱石-銅定量方法(吸光度、原子吸光)	ISO 4693:1986(2006廃止)⇒ISO 5418-2:2006(吸光度)⇒ISO 5418-1:1994 IDT ⇒2006(吸光度)					★◎				部編成規格として制定する。制定時、M8218は 廃止となる。
	M 8218-1		鉄鉱石-銅定量方法-第1部:2,2'-ピキノリン吸光度法						★◎	●			
	M 8218-2		鉄鉱石-銅定量方法-第2部:原子吸光分析法						★◎	●			
15	M 8219-1	2012	鉄鉱石-チタン定量方法-第1部:原子吸光法	ISO 8219:1995						○	★◎		
	M 8219-1	2022	鉄鉱石-チタン定量方法-第1部:原子吸光法(追補1)									追補改正(許容差)	
	M 8219-2	2012	鉄鉱石-チタン定量方法-第2部:ジアンチピリルメタン吸光度法	ISO 4691:2009						○	★◎		
16	M 8220	1995	鉄鉱石-アルミニウム定量方法(滴定、原子吸光)	ISO 4688-1:1992 IDT(原子吸光)ISO 6830:1986 IDT(滴定法)	W2024.07							部編成制定に伴って廃止した。	
	M 8220-1	2024	鉄鉱石-アルミニウム定量方法-第1部:鉄分離エチレンジアミン四酢酸ニ水素ナトリウム-亜鉛逆滴定法	ISO 6830:1986	E2024.07	●					○	部編成規格として制定した。	
	M 8220-2	2024	鉄鉱石-アルミニウム定量方法-第2部:原子吸光分析法	ISO/TR 4688-1:2017	E2024.07	●					○	部編成規格として制定した。	
17	M 8221-1	2018	鉄鉱石-カルシウム定量方法-第1部:共存元素分離しゅう酸カルシウム沈殿分離過マンガン酸カリウム滴定法	なし							○	確認	
	M 8221-2	2018	鉄鉱石-カルシウム定量方法-第2部:共存元素分離エチレンジアミン四酢酸ニ水素ナトリウム滴定法	なし							○	確認	
	M 8221-3	2018	鉄鉱石-カルシウム定量方法-第3部:原子吸光分析法	ISO 10203:2017 MOD							○	確認	
18	M 8222-1	2018	鉄鉱石-マグネシウム定量方法-第1部:共存元素分離エチレンジアミン四酢酸ニ水素ナトリウム滴定法	なし							○	確認	
	M 8222-2	2018	鉄鉱石-マグネシウム定量方法-第2部:原子吸光分析法	ISO 10204:2017 MOD							○	確認	
19	M 8223	1997	鉄鉱石-ニッケル定量方法(吸光度、原子吸光)	ISO 9685:1991 ISO 15633:2015(原子吸光) レフェリー法ではない	W2025.07	★◎						部編成規格として制定する。制定時、M8223は 廃止となる。	
	M 8223-1	2025	鉄鉱石-ニッケル定量方法-第1部:ジメチルグリオキシム吸光度法		E2025.07	★◎	●						
	M 8223-2	2025	鉄鉱石-ニッケル定量方法-第2部:鉄抽出分離原子吸光分析法		E2025.07	★◎	●						
20	M 8224	1997	鉄鉱石-クロム定量方法(吸光度、原子吸光)	ISO 9685:1991 ISO 15634:2015(原子吸光)制定	W2025.07	★◎						部編成規格として制定する。制定時、M8224は 廃止となる。	
	M 8224-1	2025	鉄鉱石-クロム定量方法-第1部:1,5-ジフェニルカルボノヒドラジド吸光度法		E2025.07	★◎	●						
	M 8224-2	2025	鉄鉱石-クロム定量方法-第2部:鉄抽出分離原子吸光分析法		E2025.07	★◎	●						
21	M 8225	1997	鉄鉱石-バナジウム定量方法(吸光度、原子吸光)	ISO 9683:9683-1(吸光度):2006 ISO 9684:9683-2(原子吸光):2009	W2025.07	★◎	●					暫定確認	
	M 8225	2013	鉄鉱石-バナジウム定量方法(追補1)			(★◎)	(●)						
	M 8225-1	2025	鉄鉱石-バナジウム定量方法-第1部:N-ベンゾイル-N-フェニルヒドロキシルアミン抽出分離吸光度法		E2025.07	★◎	●						
	M 8225-2	2025	鉄鉱石-バナジウム定量方法-第2部:原子吸光分析法		E2025.07	★◎	●						
22	M 8226	2006	鉄鉱石-ひ素定量方法(吸光度、原子吸光)	ISO 7834:1987 IDT(吸光度) ISO 17992:2013(水素化物発生) ISO 7834:1987 IDT(吸光度)			○	★◎	●				
	M 8226	2022	鉄鉱石-ひ素定量方法(原子吸光)(追補1)	ISO 17992:2013(水素化物発生) ISO/OIS 11534:1996(原子吸光)⇒2006改正								追補改正(許容差)	
23	M 8227	1997	鉄鉱石-すず定量方法(吸光度、原子吸光)	ISO 7834:1987 IDT(吸光度) ISO 17992:2013(水素化物発生) ISO/OIS 11534:1996(原子吸光)⇒2006改正					★◎			確認	
	M 8227-1		鉄鉱石-すず定量方法-第1部:よう化物抽出分離フェニルフルオロン吸光度法						★◎	●			
	M 8227-2		鉄鉱石-すず定量方法-第2部:よう化物抽出分離原子吸光分析法						★◎	●			
24	M 8228	1997	鉄鉱石-亜鉛定量方法(滴定、原子吸光)	ISO 8753:1987(廃止)IDT ISO 13310:1997 ISO 8753:1987(廃止) IDT ISO 13311:1997						★◎	●	確認	
25	M 8229	1997	鉄鉱石-鉛定量方法(原子吸光)	ISO 8753:1987(廃止) IDT ISO 13311:1997						★◎	●	確認	
26	M 8230-1	2023	鉄鉱石-ビスマス定量方法-第1部:鉄抽出分離よう化物吸光度法	なし							○	部編成規格として制定した。	
	M 8230-2	2023	鉄鉱石-ビスマス定量方法-第2部:鉄抽出分離原子吸光分析法	なし							○	部編成規格として制定した。	
27	M 8250	2015	鉄鉱石-分析用試料の吸湿度定量法-重量法、カールフィッシャー滴定法及び減量法	ISO 2596:2006 MOD						○			
	M 8250	2021	鉄鉱石-分析用試料の吸湿度定量法-重量法、カールフィッシャー滴定法及び減量法(追補1)	ISO 2596:2006 MOD	C2025.06							追補改正。カールフィッシャー電量滴定法の追補改正	
28	M 8514	2003	鉄鋼用ほたる石-分析方法	ISO 4283:1993, 他7規格								確認予定(蛍石は使用していない?)	
29	M 8700	2013	鉄鉱石及び還元鉄-用語	ISO 11323:2010		★		★	◎◎	●		2022年6月「確認」。対応国際規格(ISO11323:2010)のSR時に改正ニーズを確認する。	
30	M 8702	2019	鉄鉱石-サンプリング及び試料調製方法	ISO 3082:2017			★	◎	●			ISO3082改訂に伴い2019年改正。TC102/SC1/WG3と並行して改正検討する。	
31	M 8704	2024	鉄鉱石-ロットの質量及び品質特性値の決定方法	なし	R2024.07	●					○	鉄鋼業界法取込み 2015年5月制定。2023年全体内容精査し改正。	
32	M 8705	2021	鉄鉱石-ロットの水分決定方法	ISO 3087:2020				○★	◎	●		鉄鋼業界法を取込み2015年5月改正。ISO3087改訂に伴い2021年7月改正。TC102/SC1/AHG1活動中。	
33	M 8706	2022	鉄鉱石及び還元鉄-ふるい分けによる粒度分布の測定方法	ISO/4701:2019					○★	◎	●	鉄鋼業界法取込み 2015年5月改正。ISO4701改訂に伴い2022年改正。2025年10月にTC102/SC1/WG4設置。	
34	M 8707	2004	鉄鉱石-品位変動評価実験方法	ISO 3084:1998		★		◎	●			2023年6月確認。TC102/SC1/WG5と並行して改正検討す	
35	M 8708	2021	鉄鉱石-サンプリング、試料調製及び測定精度を確認する実験方法	ISO 3085:2019	C2025.06		○		★	◎	●	ISO3085改訂に伴い2021年3月改正。2025年10月にTC102/SC1/WG7設置。	
36	M 8709	2023	鉄鉱石-サンプリングの偏りを調査する実験方法	ISO 3086:2005						○★	◎	2023年7月改正。TC102/SC1/WG6設置の検討中。	
37	M 8711	2023	鉄鉱石焼結鉄-落下強度試験方法	なし						○★	◎	2023年7月改正。2025年10月、TC102/SC3/SG30設置(制定検討)。	
38	M 8712	2022	鉄鉱石-回転強度試験方法	ISO 3271:2015						○★	◎	TC102/SC3/SG26活動中(ブリケット)。	
39	M 8713	2021	鉄鉱石-被還元性試験方法	ISO 7215:2015, ISO 4695:2021						○	★	TC102/SC3/SG28活動中(質量測定)。	
40	M 8715	2024	鉄鉱石ペレット-膨れ試験方法	ISO 4698:2022	R2024.07	●					○★	ISO4698改訂(パウダージェット)に伴い2024年改正。2025年10月、TC102/SC3/SG31設置(体積測定)。	
41	M 8716	1990	鉄鉱石ペレット-見掛け密度及び気孔率の算出方法	なし	C2025.06		○★	◎	●			体系見直し(M8719との統合)を検討。	
42	M 8717	2017	鉄鉱石-密度試験方法	なし		★	◎	●				ETAノール法、He置換法を取込み2017年改正。手順明確化のため改正検討する。	
43	M 8718	2022	鉄鉱石ペレット-圧潰強度試験方法	ISO 4700:2015					○★	◎	●	2022年改正時、鉄鋼業界法No.16取込み(解放)	
44	M 8719	1990	鉄鉱石ペレット-体積測定方法	なし	C2025.06		○★	◎	●			体系見直し(M8716との統合)を検討。	
45	M 8720	2023	鉄鉱石-低還元率粉化試験方法	ISO 4696-1,-2:2015							○★	◎	
46	M 8721	2020	鉄鉱石-比表面積測定方法	ISO 21283:2018	C2025.06		○	★	◎			ISO新規制定後(Blaine法)のJIS化	
47	M 8722	2025	鉄鉱石-熱割れ試験方法	ISO 8371:2025	E2025.07	◎	●					ISO 8371改訂後、2025年JIS化。500℃-10分の加熱条件追加。TC102/SC3/SG25活動中(急速加熱)。	
48			鉄鉱石-LOI(強熱減量)定量方法-吸湿度補正-重量法	ISO 11536:2015									

○ 定期見直し
 ★ 検討中(又は検討開始)
 ◎ 三者委員会審議
 ● 制改正
 三者委員会審議案件 10 8 (9)* (5)* (7)* (3)*
 *検討中